

平成27年度第1回半田市図書館協議会議事録

開催日時	平成27年6月4日（木）	14時00分～ 15時25分
開催場所	図書館第3会議室	
会議次第	<p>【辞令伝達】</p> <p>【議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成26年度図書館利用状況及び事業成果報告について (2) 平成27年度予算及び図書館活動について (3) 利用者アンケート結果への対応について ・ 子ども読書活動推進計画の改定について ・ 市議会特別委員会からの提言について ・ その他 	
出席委員：9名出席 (欠席委員：1名欠席)	(委員) 前田佳男、本美信一、新海伸誓、山本幸夫、 渥美隆、山田雅子、畑野園江、鈴木仁美、 榎本悦子 (藤村敏子) ※敬称略	
事務局	図書館長 間瀬直人、亀崎図書館長 榊原雅子 副主幹 石川稔、戸田豊志、田村元成 書記 水野理絵	
その他出席職員	教育長 加来 正晴、教育部長 小坂和正	
次 第	議 事 概 要	
館 長	<p>ただいまより、平成27年度第1回図書館協議会を開催します。</p> <p>本日は、10名中9名の委員の出席をいただいております。過半数の出席をいただきましたので、図書館条例施行規則第20条第2項の規定により、会議は成立しております。</p>	
【辞令伝達】	<p>初めに、辞令伝達式を行います。今年度は4名の方に新しく委員をお願いしております。今回の委員の任期は、図書館条例第9条第4項の規定により、前任者の残任期間となり平成28年5月までになります。</p> <p>(教育長から新任委員に委嘱状伝達)</p>	

	(新任委員) 新海伸誓委員、山本幸夫委員 渥美 隆委員、榎本悦子委員
館 長	続きまして、教育長よりご挨拶申し上げます。
【あいさつ】	(教育長)「クシュラの奇跡」という本をご存じでしょうか。知的障がいを持って生まれた女の子が、母親の読み聞かせによって障がいを克服するという内容です。読み聞かせには、大きな力があるのだと感じました。 また、今年は「子ども読書活動推進計画」の改訂作業があります。皆さまの忌憚のないご意見をお願いいたします。
<p>【議題】(1) 平成26年度図書館利用状況及び事業成果報告について</p> <p>【議題】(2) 平成27年度予算及び図書館活動について</p>	<p>(事務局) 報告に入る前に、委員の交代がありましたので前回の26年度第2回協議会の内容について簡単に説明させていただきます。(略)</p> <p>それでは、お手元の図書館概要に沿って説明いたします。「さくらの家」貸出文庫が、申し出により廃止されました。</p> <p>学校等連携支援事業として、24年度より巡回文庫を実施、併せてブックトーク、読み聞かせ等を行っています。蔵書数は、資料価値が低くなった資料の除籍により0.9%の増加に留まりました。</p> <p>入館者数は、図書館事業への参加は増えていますが全体では減少傾向になりました。貸出者数は4.1%、貸出冊数は4.7%減少しています。</p> <p>その他、ボランティアとの協働で開催している「としょかんまつり」をはじめ「お仕事ファイル」「間瀬なおかた展」などを開催しました。</p> <p>27年度の活動予定は、31ページのとおりです。例年行っている行事の他に「どくしょつうちょう」の配布や南吉感想画コンクールを実施します。</p> <p>予算概要ですが、総額はほぼ横這いです。</p>
【議題】(3) 利用者アンケート結果への対応について	(事務局)平成25年に図書館への要望を把握するために利用者アンケートを行いました。その結果と対応についてご報告します。

- ・特別整理期間が長すぎる→ 業務の効率化を図り従来の8日間を6日間で行う。
- ・夏季のみ行っている午前9時から開館する期間を拡大してほしい→ 28年度からの実施に向けて今年度内に決定する。
- ・トイレの子ども用便器の設置について→ 予算措置を働きかけていく。
- ・駐車場が少ない→ 新たな土地の確保は難しい。混雑時は、体育館と調整し宮池小の駐車場なども活用していく。
- ・閉架の本を定期的に出してほしい→ テーマを決めて特集コーナーを作り活用する。
- ・検索性パソコンが少ない、予約ができるようにしたい→ 次のシステム更新時に検討する。
- ・読み聞かせや児童コーナーの子どもの声が気になるので一般のスペースと分離してほしい→ 書架の配置やパーテーションなどの設置ができないかを検討する。
- ・CDの充実、見たいDVDがない→ 音楽CDは今年度より新譜を購入、ビデオからDVDへ買い替えを行っている。
- ・接遇について→ あいさつや困っている方に声をかけるなど、利用者の立場に立った対応を現在実践している。

(館長) 補足します。25年度のアンケートについて、未対応だった事項もあります。予算やスペースが必要で対応が難しいものもあるが今後も努力していきたい。

(委員) 読み聞かせの音がうるさいとの声がありました。最近もそういった意見は多いのでしょうか。

(館長) 意見の数としては、多くはありませんが、他の図書館では児童と一般のコーナーが仕切られています。当館でも実施するにはスペースや費用が必要なため今後の検討課題です。

(委員) アンケートはひとつの意見が一項目なので

	<p>すか。</p> <p>(館長) 同様の意見はまとめてあります。</p> <p>(前田会長) アンケートの対応には、検討、改善などの文言もありますが、だいたいのはクリアできそうですか。</p> <p>(館長) 人員が必要なもの、多くの費用がかかるものはすぐには実施できませんが、後でご説明する「市議会特別委員会」からの提言と合わせて、実施が可能かどうかを今年度中に検討していきたい。</p>
<p>【議題】(4) 子ども読書活動推進計画の改訂について</p>	<p>(事務局) 23年度に策定しました「半田市子ども読書活動推進計画」について、策定から5年が経過することから同計画の改訂について諮問をいたします。</p> <p>今年度の改訂のスケジュールについては、資料のとおり4回の協議会を通してご意見を伺い、また策定のための検討資料とするため、7月にアンケートを実施します。</p> <p>(会長) 学校での朝読などは、本当に子どもたちの習慣として定着しているのでしょうか。</p> <p>(館長) 家や学校などでの読書習慣は、子どもが本を好きになるきっかけになると確信しています。</p> <p>(会長) 読み聞かせボランティアの活動もその場だけで、子ども自身の読書習慣につながっていかないのならば残念です。</p> <p>(委員) 我々ボランティアが、いくらがんばっても家庭での読み聞かせにつながっていかないと意味がなく、それにはどうしたらよいのか、会でも話題になります。</p> <p>(会長) 家庭での読み聞かせにつなげていくために、親に対して何か働きかけをできないもののでしょうか。</p> <p>(館長) 「子ども読書活動推進計画」は、子どもの周囲の大人が実践していくものです。策定するだけに留まらず、学校との連携やPRに努めていきます。</p> <p>(委員) 家庭でのお母さんの読み聞かせは、とても大事だと思います。</p> <p>(会長) 読み、書き、そろばんは、大切なことなので</p>

	<p>すが、最近忘れられがちです。</p>
<p>市議会特別委員会からの提言について</p>	<p>(事務局)平成15年の地方自治法改正により指定管理制度が導入されました。知多地域の図書館では、4館が導入しています。指定期間が短いことなどから、長期的な視野で運営ができないなどの問題点も指摘されており、指定管理から直営に戻った自治体もあります。</p> <p>運営を指定管理にするメリットとして非正規職員を多く雇用することで、人件費を安く抑えられる一方、郷土資料の収集など専門性が必要な業務や、ボランティアと学校との細かな調整、連携などを適切に行っていくことができるのかが懸念されます。</p> <p>(館長) 補足します。指定管理での図書館の運営は、従来の図書館になかったブックカフェの併設や電子書籍の導入などを目玉に集客を図っていますが、地域資料収集や学校図書館との連携など図書館本来の業務の質の低下が懸念されます。現在の半田市の図書館を指定管理にした場合、できない業務も当然でてくると思います。また、資料の廃棄も指定管理者が行うことになるので、必要な資料が廃棄されてしまうことも起こりえます。</p> <p>また当館は、まだ築30年で建て替えの時期ではありません。現在の建物を使って運営を指定管理にした場合と直営でコストをかけずに、特別委員会の提言にあるサービスの拡充をどれだけできるのかを次回の協議会でお示しして、委員の皆さんの意見を伺いたい。</p> <p>(会長) 指定管理というのは、民間委託と考えてよいですか。</p> <p>(館長) 管理、運営まですべての業務を委託します。館長も民間人です。半田市空の科学館もそうですが、利用料を徴収できるのが、図書館とは異なる点です。</p>

(委員) 小栗風葉の資料の収集など、専門知識がない民間に委託するとどうなるかわからない。これらは、南吉とともに半田市の宝物であるといえる。

(山田委員) 指定管理にすると図書館が魅力的になるのですか。

(館長) 指定管理にして、すぐ入館者が倍増したところもある。武雄市の図書館です。大府も巡回バスを走らせたり、いろいろな工夫をしているようです。図書館の集客を増やすだけなら、イベントなどを強化することになりますが、半田市の図書館は、伝統がありここにしかない貴重な資料もある。こういった資料を生かしていくことはベテランの司書にしかできない。

(会長) 半田市の図書館はどうあるべきなのか、存在意義や価値を示していかなければ、コスト優先で指定管理の方向へ進んでいってしまうのではないかと思います。

(会長) 他に何かご意見はありますか。

(委員) 学校とボランティア団体などとの連携は、大切であると思いますので、直営が望ましいと思います。

(教育長) 直営、指定管理それぞれメリット、デメリットがあるとは思いますが、市民にとってどのような形がよいのかをアンケートで調査し検討していただきたい。

(会長) その他の項目へ移ります。何かございませんか。

(委員) 大人の男性でも受講できるような文学講座が、最近少ないように思いますが。

(事務局) 今年度は、館蔵品展の開催にあわせて名古屋大学の塩村耕先生の講座を予定しております。

(教育部長) 今年度は、読書推進活動の改定や今後の運営方針のご意見をいただきたい。市役所内部の意見では、コストの削減から指定管理の方向に進みがちですが、お金では買えないものもあるのではないかと、いうことをみなさんに教えていただき、市の上層部と

も折衝していきたい。

(会長) 最後に、半田市の図書館が魅力や価値のある施設になるためにはどうしたらよいかこの会で真剣に考えていきたい。もし仮に指定管理になったとしても、ここで検討された事項がその運営に生かされなければこの協議会の意味はないでしょう。多くのご意見をいただきますようお願いいたします。今日は、ありがとうございました。

(館長) ありがとうございました。